

令和6年度研究プロジェクト計画概要

研究種別	■自主研究 16	公益目的事業 19
主査名	岩尾詠一郎 専修大学教授	
研究テーマ	ラストマイルにおける配送サービスの変化と大都市中心部の物流対策**	
<p>近年の、高齢化の進展や情報技術の発展などの社会の変化によって、消費者の購買行動が変化し、配送需要が増加している。この一方で、再配達増加や貨物自動車のドライバー不足なども含め、従来と同様な配送サービスの実施が困難となっている。このため、大都市中心部の大規模建築物やマンションなどでは、増加する配送需要と配送回数の削減を両立させるために、ハードな施設整備やソフトな運用方法の開発が求められている。</p> <p>そこで本研究では、過去に実施した物流サービスの実態を再整理するとともに、大都市中心部の大規模建築物やマンションに焦点を当てて、発荷主や配送事業者が検討すべき配送サービス水準（時間指定、当日配送、再配達無料など）の変更可能性、着荷主が検討すべき施設整備や受け取り方法の改善の可能性、都市交通計画から考えた対策などについて明らかにする。</p> <p>具体的には、社会の変化として、高齢化の進展、情報技術の発展、過疎化の進展を取り上げ、これらの社会の変化が配送に与える影響（1輸送当たりの配送個数の減少、配送回数の増加など）、配送事業者が、現在のサービス水準（配送頻度、時間指定など）で消費者に配送サービスを提供する場合の課題（非効率な配送、複数回の配送など）、最後に、配送事業者が経営を継続できる範囲での持続的な配送をおこなうための配送サービス水準の設定の考え方を明らかにするとともに、これらの分析を通して、社会の変化に対応した配送サービス水準の設定方法が明らかにする。</p>		